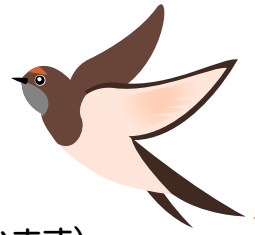


一般質問

19名の
議員が
聞いた!



9月議会は19名の議員が質問に立ちました。

全質問項目は下記のとおりです。(マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています)

本文は、質問した議員本人が要約して執筆したものです

P.8 大原伊一 議員 No.1
(輝翔会)

1. 高校卒業までの子ども医療費助成について
2. 公共施設の利用者負担金について
3. 大転換を迎えた農業情勢について

P.8 山本知克 議員 No.2
(大河の会)

1. 社会保障の相談について
2. 産業と観光支援
3. ふるさと納税・お礼の品とクラウドファンディングについて

P.9 堀 勝重 議員 No.3
(輝翔会)

1. 子育て支援の充実について

P.9 白井丈雄 議員 No.4
(大河の会)

1. 農林行政について
2. 教育行政について
3. 水道行政について

P.10 柳川 隆 議員 No.5
(市民クラブ)

1. 教育行政について
2. 市民生活行政について
3. 総務行政について

P.10 タナカ・キン 議員 No.6
(無所属)

1. サッカーにおける環境整備について
2. 小学校普通教室のエアコン設置について
3. 小学生の徒歩通学について
4. 給食アレルギー発症事故について

P.11 樋浦恵美 議員 No.7
(公明党)

1. 子どもの命と健康を守る対策について
2. がん対策について
3. 消費者被害を防ぐための取り組みについて

P.11 山崎光男 議員 No.8
(スワロークラブ)

1. 燕市の関係人口について
2. 災害に強いまちづくりについて

P.12 渡邊雄三 議員 No.9
(公明党)

1. 安全対策について
2. いじめ対策について
3. 交通公園について

P.12 山崎雅男 議員 No.10
(輝翔会)

1. 一般国道 116 号吉田バイパスの早期事業化と関連道路の整備等について
2. 一般国道 289 号燕北バイパス第一区間から第二区間延伸の今後の見通しについて
3. 医療的ケア児・者と保護者・家族支援について

P.13 土田 昇 議員 No.11
(日本共産党)

1. 柏崎刈羽原発の再稼働問題について
2. 県立吉田病院の早期建て替えについて
3. 国道 116 号吉田バイパス建設の促進について
4. 有機塩素系溶剤の排出量について
5. 体育施設の指定管理について

P.13 埜 豊 議員 No.12
(スワロークラブ)

1. 人口減少社会を迎えて人口減少が燕市に与える影響について
2. 産業問題について
3. いじめ問題について

P.14 小林由明 議員 No.13
(輝翔会)

1. 平和教育と主権者教育について
2. 公園について

P.14 齋藤信行 議員 No.14
(大河の会)

1. 部活動の方針について
2. いじめ対策について
3. 成人式について
4. 花火大会について

P.15 長井由喜雄 議員 No.15
(日本共産党)

1. 安心・安全で質の高い幼児施設および学校施設について
2. 猛暑対策について
3. 子どもの医療費助成を高校卒業まで拡大を
4. 国民健康保険税の負担軽減について

P.15 藤井秀人 議員 No.16
(市民クラブ)

1. 災害対応について

P.16 宮路敏裕 議員 No.17
(日本共産党)

1. 地域の公民館の改修・整備について
2. 燕労災病院の跡地利用について
3. 高齢化社会において公共交通のあり方について
4. 格差と貧困をどう抑えるかについて

P.16 吉田勝利 議員 No.18
(輝翔会)

1. 燕市の産業について

P.17 大岩 勉 議員 No.19
(スワロークラブ)

1. 市長の政治姿勢について
2. 政党機関紙「しんぶん赤旗」の庁舎内での購読勧誘・配達・集金について
3. 学校教育について
4. 防災意識を高める町づくりについて



子どもの医療費 高校卒業まで充実

問 29年度の出生数が500人
を切った厳しい現実を捉え、
子どもの医療費を高校卒業まで
充実させる必要がある。

答 他市町村の状況、子どもの数
の減少傾向などを踏まえ、各
種事業見直しによる財源確保も視野
に入れ、新年度から高校卒業まで
拡充する方向で検討している。

問 公の施設の受益者負担見直
しを、せめて光熱費くらい負
担していただくべきではないのか。

答 市内施設の施設使用料金は、
合併後見直しが行われておら
ず、統一されていなかった。
減免措置などを統一することで利
用者の公平性が確保されること
に、近隣市町村との大幅な金額の差
が生じないようにバランスをとった。

問 大転換を迎えた農業情勢と
今年産の作付状況について。

答 県内の主食用米作付けは、
1%増加。国内では、作付け
増加が6県・減少傾向が7県である
が、全体としては増加傾向である。
本市では、来年度以降も作付け計
画野帳の提出を求め、需要に応じた



大原伊一 (輝翔会)



子どもの医療費助成高校卒業まで拡充を

答 米生産を推進していきたい。業務用
品種の導入に水稲業務用多収性品種
作付推進補助金を実施しており、導
入を推進していきたい。

問 米穀検査の見直し廃止の方
向性について。

答 流通や消費者ニーズに即した
合理的なものを見直す方向性
が示されている。

子ども医療費助成事業 の拡充について



堀 勝重 (輝翔会)

問 子ども医療費助成制度は、
ここ数年で県内他市が概ね
高校卒業までと拡充してきている
状況のようでありますが、当市にお
いて、充実した子育て環境を考へる
ならば、18歳までの子ども医療費
助成制度の拡充を実施すべきでない
かと思いますが、いかがでしょうか。

答 少子化対策において、医療費
助成の拡充は、子育て世代の
経済的負担の軽減を図る上で有効な
施策であると考えております。各種
事業の見直しによる財源確保も視野
に入れながら、子ども医療費助成を
新年度から高校卒業まで拡充する方
向で検討してまいりたい。

問 昨年の12月議会において、
児童クラブにおける食物ア
レルギー対応の体制の構築が必要
ではないかとの質問をいたしました。
答弁では食物アレルギー対応
マニュアルを、来年の夏ごろをめど
に策定したいとのことでありまし
た。マニュアル策定の進捗状況につ
いて伺います。

答 若干遅れておりますが、食物
アレルギーを持つ児童の保護



安心して子育てができる
燕市にむけて！

者の皆さんと、十分な意見交換を行
いたいと考えておりますので、今年
の10月末ごろに公表できればと考へ
ております。

もう一つの介護、 こんな相談もある

問 進む少子化の中で介護を分
担する人がいない。仕事との
両立が難しく「介護離職」やその
他の要因で職を失う人も少なく
ない。収入の面で親の年金や資産に
頼る現実も聞かれる中で、入所や死
別などを機に再就職を望む声も聞
かれるが、年齢やさまざまな要因
から難しい、対応や課題を伺う。

答 ハローワークでの求職活動が
優先されるが、一般的に職に
就いてない期間が長いほど難しくな
るが、その把握が課題だ。
また、将来の生活に不安を抱える
ようであれば、社会保障事業の中か
ら「セーフティネット」とも呼ばれ
る生活困窮者自立支援制度の利用対
象となり、専門職と連携を取りなが
ら求職活動が可能になる。今後の周
知活動に努めたい。

問 社会保障には各種の支援制
度があり、その中で適切な
制度を選択し申請いただくには「周
知とスムーズな対応」が必要だが、
現状を伺う。

答 相談の多い高齢者や障がい者
の相談には、福祉相談窓口を



山本知克 (大河の会)



再就職は、さまざまな問題が…

設け関係者と共に連携し、速やかな
対応に当たっている。
また、社会保障は範囲も広く、「知
らない人の解らない」を埋めるため
にも、今後部内で広報を含め周知活
動を検討していく。

林道工事、中学生の 職場体験、水道管整備



白井丈雄 (大河の会)

問 工事契約内容、復旧工法、
倒木処理について。

答 梅雨の関係で6月に契約し、
国土地内の4カ所で行う。ワ
イヤネット工法で、アンカーピン
は30cmで樹脂製だ。倒木は森林組合
が無償で引き取った。

問 職場体験先の選定、授業へ
の支障、作業での事故対応、
職場体験の気持ちの整理は、多種
多様な体験が必要では。高校への
進路連携はどうか。

答 多くの職種に配慮し第3希
望まで聞いた。1、2年生を
対象として総合学習を利用した。教
師冥利だと感じるので多忙感
はない。受け入れ先での事故につい
ては保険で対応している。学んだこと
はレポートで、働くことの喜びや楽
しさを体感している。また、校内で
発表会も開催している。いろいろな
職場体験は必要だ。上級校への進路
目的や授業目的とはしていない。

問 整備実施は両刃の剣となら
ないか。ダクトイル鋼鉄管
の耐震性は、黒鉛素材の健康への
影響は。

答 地元企業に技術的なものに
も配慮している。推進工法で、
供用開始までの期間で完了させた
い。工期の短縮も図れる。地元にも
技術の向上が図れる。事前にアン
ケートを取って参加意欲を聞いた。
ダクトイルは設計指針に基づいてお
り、耐震での被害は聞いていない。
球状黒鉛であり炭素なので影響は出
ない。溶出はしない。



中学生の職場体験学習

学校給食事故と有害物質濃度のことについて



柳川 隆 (市民クラブ)

問 6月15日付の文書では、4月に乳成分の記載はなかったと書いてあり、その後で以前から乳成分があったことが判明したとある。単純に相反する表現に思えるが、どういふことが伺う。

答 事実確認が不足していたために、今回このような形でお騒がせするようになったということになります。

問 市は食物アレルギー対応マニュアルがあつて、微量なのは除去する必要がないから担当の職員は乳成分を確認しなかつたということだが、結果アレルギー反応があつて症状が出た。この対応マニュアルというのは問題があるのではないかと伺う。

答 国、県のマニュアルによる、添加物等の微量なアレルギーで反応するお子さんは并当対応が基本。そこを超えて、これまで味彩燕では一切アレルギーのない調味料を使っていた。そのところがきちんと伝わっていなかったで見落とし

問 かつての高度成長時代、同時に起こつたのが公害問題。これを燕に置きかえたとき、工業出荷額が増えるトリクロロエチレンの使用量が増えることが背中合わせになつていふと思うが、見解を伺う。

答 総体的にはトリクロロエチレンを使う業種は、工業出荷額に占める割合で1割程度であり、即トリクロロエチレンの増加にはならない。



4月に業務を開始した燕市東部学校給食センター

子どもの命と健康を守る対策について



樋浦恵美 (公明党)

問 小中学校における暑さ対策、熱中症計の設置について伺う。

答 小中学校の暑さ対策としては、これまで小学校の普通教室への扇風機の配置などを行った。今夏の異常な暑さ対策として、学校には冷房設備を備えた図書室等の特別教室での授業を、これまで以上に行うよう指導した。また、授業中であつても小まめに水分補給をすること、気温が35度以上の場合は屋外での活動はしないこと、屋外で活動する場合は必ず帽子を着用すること等の指導を徹底した。さらに今年から暑さ指数を計測することのできる熱中症計を各小学校に2台ずつ配置し、現在では児童等の健康管理に役立てているものと考えている。

寿福祉課 そして地域包括支援センターが消費者被害情報の共有化を図りながら、高齢者の消費者被害の拡大防止に努めている。今後は消費生活サポーターなどの連携も図りながら、消費生活現場での啓発活動にさらに取り組んでまいりたい。



来年度、市内小学校の普通教室にエアコンが設置されます

サッカーの環境整備の充実を図りたい思い

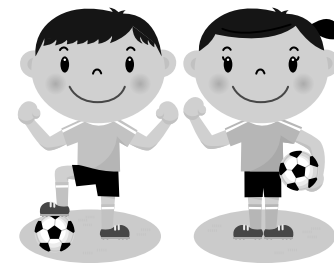


タナカ・キン (無所属)

問 6月議会の最終日、追加議案として平成28年6月議会で採択された「燕市でのサッカーにおける環境整備を求める請願書」に基づく「サッカー練習場整備事業」がクラウドファンディング事業として提案された。しかし、全員協議会で強い反対意見が出ると、まだ意見が尽きつたわけでもないのに当局が取り下げるに至つたことには問題があつたと思うが。

答 提案はあくまでも採択された請願の処理を求められたことに基づくもの。議案もサッカー場整備そのものでなく、実現を図るための課題である財源確保の手法の提案であることなどを繰り返し説明しましたが、理解してもらえない中、請願を採択した議会側と請願団体との間で疑義となつている点について確認する必要があると判断し、一旦議案を取り下げさせていただいたものである。

問 議会から早期に市内小学校等の教室にエアコンの設置を求める要望書に対し、来年の夏までの設置に向けてのスケジュールは



答 万全なのが、エアコンの設置については、今後設計委託の手续を進めていく。設計完了後は国の補正予算の動向を見きわめながら、速やかに工事の入札を行い、来年夏をめどにエアコンが設置できるよう準備していきたい。

「関係人口」は人口減少社会における打開策



山崎光男 (スクワーカークラブ)

問 つばめ産学協創スクエア事業は関係人口と関連がある。これまでの成果と課題、今後の方向性を伺う。

答 平成29年4月から平成30年8月末までの実績として、学生の受け入れ人数は延べ2833名、学生が在籍する大学の実数は30校、受け入れた企業の実数は47社となつている。その47社のうち、インターンシップを通じて1社で1人の内定者が出るなど、直接的な効果も生まれている。今後も積極的な情報発信に努めるとともに、事業の核となるコーディネーター企業の充実や、受け入れ企業との交流をさらに深め、インターンシップ受け入れ推進モデル地域となれるよう継続的に取り組むたい。

問 避難所自動開錠ボックスを導入する自治体が増えていく。燕市も設置を検討してはどうか。

答 避難所自動開錠ボックスは、感震センサーが震度5弱から震度6弱相当の揺れを感知すると自動的に開錠し、一定時間後自動的に施錠するもので、県内では村上市が導入している。自動開錠ボックスの必要性を研究するとともに、自治体の動向を注視したい。



産業界が整備した宿泊・交流施設は、平成30年2月13日から利用を開始、96日間で延べ149人、実数141人の学生が宿泊利用した

ミチカナ・モンダイヨ・ギインガ・キキマス



ブロック塀の安全対策について

問 通学路に面した危険なブロック塀等の調査をどのように進め、児童生徒の安全対策を行ったのか。

答 文部科学省の通知に基づき、学校防災マニュアルを踏まえ、通学路の状況確認を行っているところで、建築基準法施行令に適合しないブロック塀などがこれまで493件報告された。今後は通学路に面した危険なブロック塀などの具体的な対応について関係部署と連携して検討したい。

問 安全性の問題のある通学路を今後どうするのか、通学路に面した民間ブロック塀などの撤去費用を支援すべきと思うが考えを伺います。

答 市ではまず公共施設のブロック塀等の点検を行い、現在危険個所の撤去作業を実施している。通学路に面したブロック塀などの撤去費用支援は、国の、平成31年度予算の概算要求で国土交通省や文部科学省が支援策を予定している。その動向を注視することもいる。



渡邊雄三 (公明党)



他の県内自治体の状況を踏まえ、どう取り組んでいくか検討している。

問 交通公園に遊びに来た園児、児童に定期的に交通ルールを教える指導員が必要と思うがいかがか。

答 指導員の常時配置はしていない。園児、児童を対象とした交通安全教室に施設を提供している。



道路に面したブロック塀



イッパンシツモンノ・セイゲンジカンハ・ヒトリアタリサンジュツプンデス

国道116号吉田バイパス早期事業化に向けて

問 吉田バイパス整備は、渋滞解消、災害に強い道路網構築の必要性、救急医療・地元産業への貢献等々と極めて重要性が高いが直近の動向と今後の取り組みについて。

答 バイパス案として、道路構造は現道拡幅部4車線+バイパス2車線案が選定された。本年度は国県市が一体となり都市計画決定を進める調査を実施している。

問 自然災害や原発が再稼働した場合の危険性や、本市はものづくり産業のまちで、平成27年工業出荷額が441.3億円、工業団地が管内で19カ所ある。産業のまちとして重要幹線道路が5カ所に交通量が増大する状況の中で吉田バイパスは、片側2車線、両側4車線が基本ではないのか。

答 国の審議会で、専門的な見地から議論された結果と理解している。

問 現道拡幅部4車線+バイパス2車線が本市にとつて吉田バイパス整備が相応しいのか。



交通量の多い現在の国道116号 重要性の高いバイパス整備が求められる



山崎雅男 (輝翔会)



答 バイパス区間の中央部付近は不可追い越し車線設定する。道路構造は都市計画決定に向け検討され幅や区域が定められ、ある程度の幅に実施になる予想。市として現道拡幅部4車線+バイパス2車線が現国道116号一定の交通が残る、現道沿い商店等を既存市街地の空洞化対策にも寄与する。

燕市の財政状況と今後の取り組み

問 燕市の平成29年度決算では、財政調整基金を8億7000万円取り崩さざる得ない状況でありました。今後、合併特例算定替え、ピークを迎える合併特例債の償還など、燕市を取り巻く厳しい状況の下いかなる財政運営を図るのかお聞きしたい。

答 市の財政状況は、今後も厳しさを増していきます。3つの人口増戦略を柱とした、第2次総合計画の着実な推進、公共施設の総量の適正化、民間活力の導入、受益者負担の適正化による財務体質の改善に積極的に取り組む覚悟です。

問 日本の企業数380万社のうち99.7%が中小零細企業であります。ここにきて、事業承継が大きな問題となっております。

中小企業庁では2025年までに2015年と比較して650万人の雇用喪失、GDPで22兆円の減少という大きな影響が出ると試算されており、全国の縮図である



埴 豊 (スワロークラブ)



答 経営者の高齢化と後継者難は、業績悪化や廃業に直結する大問題であります。燕市では、支援策として事業承継補助金を創設するなどして事業承継を促す努力を続けたい。



燕市役所

問 6月県議会での花角知事の答弁では、知事選で掲げた公約に沿ったものであったと理解しています。

すなわち県独自の福島第1原発事故の3つの検証を引き続き徹底的に進めていくこと、そしてその3つの検証の結果が示されない限り再稼働の議論はできないという姿勢を堅持すること、検証結果が示されたら県民に広く情報共有をすることも、県民の信を問わない形で再稼働は行わないと明言するものであります。

私は、この花角知事の考え、姿勢に対して大いに共感、賛同しております。



安全確保の原発を

平和教育、公園の活用について



小林由明 (輝翔会)



問 広島平和祈念式典派遣事業について。なぜ戦争が起きるのか、どうすれば戦争が起らないのかといった客観的で現実的な学びと議論、そして行動が生まれるよう取り組むべきと思うがいかがか。

答 派遣生の報告会後に再度社会科の学習で平和を取り上げ、報告会を思い起こさせながら授業をし、その中でなぜ戦争は起きるのかを考えさせたり、平和を守るためにやるべきことは何かを話し合わせたりしている。また、派遣生の報告会がきっかけとなり、生徒会が中心となって自分たちができることを考え、老人福祉センターでのボランティア活動を企画し、実践した中学校もあったと聞いている。今後も本事業を通して平和の尊厳に対する生徒の意識を高めることを大切にしながら、派遣生の報告を生かした生徒の自発的な取り組みが広がるように努めてまいりたい。



全国には様々な公園活用の事例がある。市民主導で近所の公園の発展的活用を！

いじめの早期発見と子供の心のケアについて



齋藤信行 (大河の会)



問 いじめは早期発見できればいいが、分からないところで進行している場合もある。その対策をどう考えているか。いじめに遭った子どもの心のケアは相談、指導を行う先生や専門職員がどう行っているか。

答 けんか、ふざけあいでも分からないところではない。いじめにつながる場合もあることから、各学校では日常的な観察を通して児童生徒の人間関係の変化などを把握し、定期的にアンケートを実施したり、家庭や地域に情報提供をお願いして早期発見に努めている。



2022年度の18歳の成人式はどうなるのか

問 担任が発見した場合、すぐに学年主任や生徒指導主事などに報告することにも、全教職員で情報共有し、組織的に対応するよう今後も各学校を指導していく。

答 いじめは深刻な人権侵害で、被害に遭った子どもの個々のケアは最優先されるべき。各学校の相談体制は担任や養護教諭などが相談に当たっている。教育委員会のスクールカウンセラーなどの専門職員も相談に対応している。

必要な学校にエレベーター設置を



長井由喜雄 (日本共産党)



問 階の移動が困難な児童生徒がいる学校にエレベーター設置を求める。設置状況はどうか。

答 現在燕地区小1、中1、吉田地区は小2、中1、分水地区の小1、中1校に設置。文科省は個々のニーズに応じた対策を講ずるといふことが必要であるとし、燕市の場合には階段昇降機のほつで対応している学校が2校ある。

問 休み時間と、昇降機は3階へ移動したら、時間はどれくらいか。

答 休み時間は通常10分。移動は10分から15分と思う。

問 日本共産党が実施したアンケートで、子育て支援の中で子ども医療費助成は高校卒業までにしてほしいという声

答 子育て世代の経済的負担の軽減を図る上で有効な施策で、高校卒業まで拡大することの必要性は十分に認識している。医療費助成制度等の事務事業



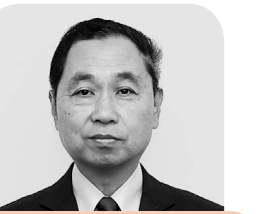
燕地区の小学校に置かれている階段昇降機

問 国保には子どもを含む「均等割」があり、今年度3000円増額した。高校卒業までの年齢まで付加しないことを求める。

答 4月現在で18歳以下の被保険者は1157人。子育て支援の充実是我々も同じ気持ち。全体的に歩取り組みたい。国に対してはなる財政支援を要望したい。

イッパンシツモンノ・セイゲンジカンハ・ヒトリアタリサンジュツブンス

災害対応について



藤井秀人 (市民クラブ)



問 大河津分水路改修事業で、市長らが先日、国に陳情を行ったが、計画どおり進行するのか。

答 先日、長岡市と合同で大河津分水路改修事業の促進について、議長、大河津分水大改修事業促進特別委員会の正副委員長と一緒に国土交通省と財務省に要望した。国土交通省では石井大臣に直接要望でき、大臣からは重要な事業と認識しており、しっかりと進捗を図っていくたいとの発言をいただいた。今後も地元市として全力を挙げて事業に協力しながら、1日も早い完成を機会あることに国に要望をしたい。

問 ここ数年で、豪雨時の避難情報の頻度と種類は、ハザードマップを市民に説明する機会を

答 避難情報の発令は4年間で3回、土砂災害の恐れのある地域に発令した。ハザードマップについてはリニューアル版を作成し、出前講座を活用して8月末時点で13回



「洪水・土砂災害ハザードマップより」(平成23年7月豪雨時の大河津分水路)

の講座を開設し、およそ500人が受講した。大雨特別警報は、市としては早め早めの避難の呼びかけを心がけており、毎年出水期までに災害対応確認会議を開き、部局の対策を確認している。地区防災計画は策定には至っていない。



市民の声をしっかりと受け止め県と協議を

問 燕労災病院の跡地利用について、市長は地元の声や民間が主体となることを判断したら地域住民、病院周辺の住民の声を尊重した具体的内容を持って、県と協議するスタンスであるとしてきたが、知事が代わった現在も同じか、何うか。

答 県議会が終了した7月下旬、新知事と面会し、両者誠意を持って協議していくことを確認した。協議に当たり病院周辺住民の声を聞くという視点を欠いてはいけないと考えるが、広域自治体である県との協議である以上、広域の視点、例えば燕市全市民にとつての有益性、或いは近隣市町村住民にとつて必要な施設としての協議が基本になると考える。

問 市民からは「病院閉鎖は不安、跡地は老後施設に、診療所に」「健康相談所、成人病や高齢者の疾病予防のトレーニングルームに」など、病院隣接の老人施設とよい影響を及ぼし合う施設を望むという声を多く聞いている。



4月から県に移管された燕労災病院と手前は特別擁護老人ホームつばめ福寿園

答 紹介された「市民の声」の趣旨と共通の思いを持っている市民が結構大勢であるということは把握している。そうした視点も含めて、市民を代表して、最も有益である施設を望んでいることを、県に申し上げていきたい。



宮路敏裕 (日本共産党)



県央大橋東詰からのアクセス道路整備を!

問 県央基幹病院の建設に伴う新たなアクセス道路整備、周辺地域の冠水対策など整備基本計画の進捗状況はどうか。

答 県央大橋東詰から国道8号にかけての直線道路を病院の開院までに整備するべく花角知事に熱く伝えています。

問 「しんぶん赤旗」の庁舎内での購読勧誘・配達・集金のセールス業務が議員により行われていることは市長が許可しているのか。

答 市庁舎では許可証は発行していない。執務室内での配達集金は制限すること、また強要を慎むよう副市長名で議長に申し伝えた。

問 通学路の安全対策の現状と、小学校では集団登下校されない学校数とされない理由を伺う。

答 年度当初に教職員と集団下校し地域の危険な場所を確認しています。集団登下校してないのは3校で登下校の見守りを願っています。

問 緊急消防援助隊に登録しているのか、防災意識を高める



県央基幹病院建設予定地



大岩 勉 (スワロークラブ)



答 町づくりをしているのか。登録しています。避難所、災害現場の様子の記事などを使い、出前講座など今後も継続します。



イッパンシツモンハ・ギンホンニンガ・ヨウヤクシタゲンコウヨ・ケイサイシテイマス

金属製品洗浄剤トリクロによる大気汚染の件

問 先ごろ、金属製品洗浄剤のトリクロエチレンによる大気汚染が、燕市は日本一高いとの報道があった。しかしそれがこれから何年何十年と続くものだろうか。私はこのことで次の質問をいたします。このトリクロエチレンの年間の使用量は。

答 使用量は県のトリクロエチレン等環境汚染防止対策要綱により届出されている報告によれば、平成28年度の県央地区で92事業所で年間750トンである(燕市内の量は公表されていない)。

問 使用後の廃棄処分の方法は。

答 廃棄処分の件では、県の燕市内54事業所の調査によれば、溶剤回収装置が稼働しているのは33事業所であった。

問 燕市の金属製品製造業者の廃業や団地等他所に移転されて生じた跡地の数は。

答 跡地件数は23件である。

問 これらの跡地でトリクロエチレンの検出されている所



吉田勝利 (輝翔会)



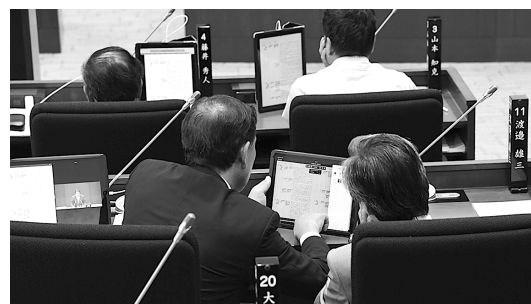
答 トリクロエチレンの検出されている所は3カ所で健康被害の生ずる恐れのないことと判断されている。これらことから現在燕市の洗浄剤溶液による大気汚染は「このところ異常気象により高濃度になっているのではないのか」と思っている。しかし汚染濃度の減少が大切なところであると明白。



ぎかいコラム 燕市議会でもタブレット導入

ペーパーレス化が進む中、平成25年5月に全国で初めて神奈川県逗子市議会がタブレットを導入して以降、全国の自治体議会で取り組みが広がっています。新潟県内でも燕市を含む6市議会(胎内市・上越市・糸魚川市・柏崎市・長岡市)で導入されています。

燕市議会におけるこれまでの取り組みは、平成27年5月に議会報等特別委員会が会議録調製委託先の(株)会議録センターで初めてタブレットの操作研修を行い、その後、平成28年6月には全議員のタブレット研修を実施。また、平成29年2月に議会運営委員会が茨城県守谷市議会へペーパーレス議会の取り組みを視察するなど、導入の検討を重ねてきた結果、今9月定例会から本格導入となりました。



9月定例会でのタブレット使用の様子

タブレットの導入により、議会や地域における議員活動の効率化、ペーパーレス化による印刷や製本、配送などの人的コストの削減など多くのメリットがあります。これからもさらなる議会改革に努めていきます。

燕市議会のこれからは考えて